

建築研究所ニュース



平成21年10月26日

中国四川大地震の復興支援「耐震建築人材育成プロジェクト」として中国の 構造技術者を対象とした「中国耐震建築研修」を新たに開講します

昨年5月12日に発生した中国四川大地震は、死者・行方不明者8万7千人以上、約650万棟の建物が倒壊するという甚大な被害をもたらしました。地震発生から一年となる本年5月12日に、日本の復興支援策の一つに位置づけられる「耐震建築人材育成プロジェクト」の日中双方による署名式が中国北京市において行われました。本プロジェクトは、建築物の耐震性を確保するための中国の構造技術者等の育成を目的として、専門家の中国への派遣、日本国内における研修及び中国国内における研修などの組み合わせにより、(独)国際協力機構(JICA)の技術協力プロジェクトとして実施され、国土交通省、(独)建築研究所等の協力により、3カ年の予定で実施されます。

(独)建築研究所・国際地震工学センターでは、これまで96ヶ国から1,404名を受け入れて国際地震工学研修を実施してきた実績を活かし、日本国内における研修のうち「耐震建築の設計・診断・補強コース」(略称：中国耐震建築研修)を、中国四川大地震の被害を受けた四川省建築研究所主任技師等、中国からの20名の構造技術者等を対象に、10月27日の開講式から約2カ月間の予定で実施いたします。開講式には中国住宅都市農村建設部工程質量安全监管司 司長 陳重氏ほか4名が出席されます。

本研修によって、耐震技術に関する中国の構造技術者の理解が深まるとともに、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物について耐震技術が普及することが期待されます。

<参考1：開講式の日程>

中国耐震建築研修 開講式

日時：平成21年10月27日(火) 13:10～14:10

場所：建築研究所2階講堂

(つくば市立原1)

<参考2：研修の概要>

研修期間：平成21年10月28日(水)～12月22日(火)

場所：建築研究所

参加者：中国構造技術者20名

主な講義内容

耐震設計、耐震診断および補強、免震・制振構造、超高層建築など

(内容及び開講式取材の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 国際地震工学センター

管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp